

シンポジウム 学会の設立と発展を振り返る

報告 (敬称略)

小野寺夏生 (おのでらなつお)

現職：科学技術・学術政策研究所 客員研究官

略歴：日本科学技術情報センター、科学技術振興事業団勤務の後、1998年図書館情報大学教授、2004年筑波大学教授、2009年同大学名誉教授、2012年より現職、2018年、東京大学より博士（教育学）の学位を取得。

共著に、『学術情報流通と大学図書館』（勉誠出版、2007）、『情報の評価とコレクション形成』（勉誠出版、2015）など。

情報メディア学会での活動：

2000年発足時に参加。第1期・第2期(2000～2006) 事務局長、第4期・第5期(2009～2015) 副会長、第6期・第7期(2015～2021) 監事を担当。

パネリスト (敬称略)

長塚 隆 (ながつか たかし)

現職：鶴見大学名誉教授

略歴：微生物の研究から情報の探索へ、データベース協会会長などを経て、2004年から新設された鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科教授。2015年より2018年まで同学科図書館員リカレント教育推進寄附講座教授。2015年より鶴見大学名誉教授。主な著書・訳書に『数を表現する技術-伝わるレポート・論文・プレゼンテーション』（監訳、オーム社、2006）、『図書館情報学のフロンティア10 図書館・博物館・文書館の連携』（共著、勉誠出版、2010）、『情報リテラシー第3版』（共著、樹村房 2012）、『デジタル環境と図書館の未来 - これからの図書館に求められるもの -』（共著、日外アソシエーツ 2016）、『挑戦する公共図書館-デジタル化が加速する世界の図書館とこれからの日本-』（日外アソシエーツ 2018）。

情報メディア学会での活動：

2000年発足時に参加。第3期・第4期(2006～2012)副会長、第5期・第6期(2012～2018) 監事、第7期(2018～2021) 副会長を担当。

中山 伸一 (なかやま しんいち)

現職：筑波大学教授

略歴：埼玉大学理学研究科化学専攻修了（理学修士）。博士（学術）（埼玉大学）。

相模中央化学研究所を経て、1982年に図書館情報大学に助手として着任後、講師、助教授を経て2000年に教授。大学統合により2002年より現職。主な著書『情報メディアの活用と展開』（共著、青弓社 2003）、『図書館情報学を学ぶ人のために』（共著、世界思想社 2017）

情報メディア学会での活動：

2000年発足時に入会。第5期（2012～2015）副会長・事務局長、
第6期（2015～2018）会長・事務局長を担当。

角田 裕之 (つのだ ひろゆき)

現職：鶴見大学教授

略歴：筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了 博士（図書館情報学）
尚絅大学教授を経て、2012年～2018年 鶴見大学教授、2019年～2020年 同副学
長・教授、2021年～同文学部長

主な著書に『ネットワーク社会経済論』（共著、紀伊國屋書店、2005）、『次世代XML
Web サービスとシチズン・セントリックの考え方』（共著、紀伊國屋書店、2005）、
『図書館情報学用語辞典第4版』（共著、丸善出版、2013）、『現代社会の変容による
人間行動の変化について』（共著、中央大学出版部、2015）、『図書館情報学用語辞典
第5版』（共著、丸善出版、2020）

情報メディア学会での活動：

2003年入会、第5期（2012～2015）理事（研究大会担当）、第6期（2015～2018）
副会長、第7期（2018年～2021） 監事、
2012年～2014年 2016年～2019年 研究大会企画委員を担当。

進行（敬称略）

植村 八潮（うえむら やしお）

現職：専修大学教授

略歴：博士（コミュニケーション学）、東京電機大学工学部卒業。東京経済大大学院博士課程修了。東京電機大学出版局長を経て、2012年より専修大学文学部教授および出版デジタル機構代表取締役役に就任。2014年出版デジタル機構取締役会長を退任し、現在に至る。

近著として『図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供に向けて』（編著、樹村房、2016）、『ポストデジタル時代の公共図書館』（共編著、勉誠出版、2017）、『電子図書館・電子書籍貸出サービス：調査報告2020』（共編著、樹村房、2020）

情報メディア学会での活動：

2003年入会、第4期（2009～2012）理事、第7期（2018年～2021）会長